段ボールでコンポスト

湖西市が生ごみ減量の講習会 処理方法など解説

湖西市主催の「みんなでチャレンジ生ごみ減量講習会」が十九日、市環境センターで開かれた。市民約四十人が参加。浜松市のNPO法人エコライフはままつの土橋登巳代さんが、コンポストや電気式処理機などの特徴を挙げながら、家庭でできる生ごみの処理方法を解説した。

段ボール箱を活用したコンポストは、作り方を実演。腐葉土や米ぬかなどに、生ごみを混ぜ、布に包んで段ボールに入れて堆肥化させる手順を紹介した。

参加者からは「油を入れても良いか」など盛んに質問が飛び、土橋さんは「食べられるものなら大丈夫。ごみは細かくして良く混ぜた方が良い」などと答えていた。（中山聡幸）

段ボール箱を使ったコンポストの作り方を説明する土橋さん㊧＝湖西市環境センターで

中日新聞 2012年（平成24年）1月20日（金曜日） 18 湖西版

目指せ「生ごみ半減」

湖西で市民講習会

段ボール処理容器も紹介

昨年からの5年間で生ごみの排出量半減を目標に掲げている湖西市で、ごみ処理容器（コンポスト）の使い方や作り方の講習会がこのほど、同市の市環境センターで開かれた。

目標設定は浜松市への可燃ごみ処理委託開始がきっかけ。各家庭からの排出量が減った場合、同市へ支払う委託料も軽減されることから、湖西市は特に生ごみ対策の協力を市民に求めていて、講習会には約40人が出席した。

この日はNPO法人「エコライフはままつ」（浜松市西区）の土橋登巳代さんが講師を務め、密封発酵型や完全消滅型など、さまざまなタイプのコンポストの特徴や扱い方を説明。段ボールの中に腐葉土やピートモス、米ぬかなどを混ぜて簡単に作製できる処理容器も紹介され、参加者は「油分も分解されるのか」「虫を寄せ付けない方法は」と次々に質問しながら熱心に耳を傾けた。

段ボールを使った簡単なコンポストの作り方を学ぶ参加者たち＝湖西市環境センター

中日新聞 平成24年（2012年）1月22日（日曜日）（20） 地域 西